

## 緑鯨城会のあゆみ

- S 63年 区会発足準備開始 責任者として野田秀夫さんを選出
- H 元年 4月 区会設立のための相談会開催（区役所25名参加）  
 5月 検討会を設立総会に切り替え 緑鯨城会を結成 29名出席  
 7月 緑鯨城会仮発足 初代会長那須一雄氏
- 2年 4月 第2回総会開催
- 6年10月 広報誌「ふれあい」創刊号発行
- 7年 2月 市議会、防災センター見学
- 8年10月 第1回作品展開催（ふれあい広場会館）出展数125点
- 9年 4月 市保健所との交流、講話会実施開始（月1回 H10年3月～）  
 6月 リニアモーターカー試乗会実施（大江実験センター）参加者32名
- 11年10月 趣味の作品展が「ふれあい広場」から区役所へ（創立10周年）
- 13年 1月 第5回 作品展開催（区役所講堂）出展数336点
- 14年 7月 ボランティア活動に関するアンケート調査実施  
 回答数 102/186 活動に参加の意志あり 52%
- 15年 5月 「ふれあい広場」清掃活動開始 参加者17名  
 6月 雑巾ボランティア開始（こじま会みどりへ 158枚）
- 16年 5月 「ふれあい広場」前庭に15周年の記念植樹（金木犀）  
 12月 新潟中越地震義捐金寄付（35,853円）
- 17年 4月 「かきつばたの里」ボランティア活動開始  
 12月 第10回 作品展開催（区役所講堂） 出展数271点
- 18年 2月 緑福祉協議会より、緑鯨城会ボランティア委員2名表彰される  
 荒川艶子さん（10期） 水戸和子さん（11期）  
 11月 広報誌「ふれあい」の表紙をカラー化  
 12月 第11回作品展において 初代会長那須一雄氏を表彰
- 19年 7月 在校生に対する区会説明会（初）実施される
- 20年 2月 雑巾寄贈 1000枚達成  
 6月 記念樹（金木犀）を成海神社に移植
- 21年 3月 「ふれあい広場」が廃止となる  
 （運営委員会は徳重コミセンへ、清掃活動は大高緑地へ）  
 4月 緑市民病院での「喫茶ボランティア」活動開始  
 大高緑地での「清掃ボランティア」活動開始  
 10月 扇川沿いクリーンキャンペーン実施（20周年記念行事）



## 緑鯨城会 30年のあゆみ

30周年記念事業実行委員会

- |       |   |   |
|-------|---|---|
| 昭和63年 | 区会（緑鯨城会）発足準備始まる   | 責任者として野口秀夫氏選出   |
| 平成元年  | 4月 区会（緑鯨城会）創立のための相談会開催（緑区役所に25名参加）<br>5月 トータスランドにて設立検討会を総会に切り替え<br>緑鯨城会結成。（29名出席）<br><b>平成元年5月29日を緑鯨城会創立日とする</b><br>7月 初代会長選出 那須一雄氏就任 |  |
| 平成2年  | 3月 緑鯨城会会則制定（第1条～第10条、付則）<br>4月 第2回緑鯨城会総会開催  |   |
| 平成4年  | 4月 緑鯨城会運営組織<br>会長、副会長、書記、会計、監査、相談役、幹事（期別）<br>6月 サークル活動準備始まる<br>鉢物盆栽、陶芸、日本画、朝の散歩会、卓球、グランドゴルフ   |   |
| 平成6年  | 4月 緑鯨城会運営組織<br>会長、副会長、書記、会計、監査、名誉会長<br>広報委員、行事委員、サークル委員、期別幹事、地区委員<br>10月 広報誌「ふれあい」B5版創刊号発行  |   |
| 平成8年  | 4月 緑鯨城会総会開催 会長に初めて女性が選出される 鬼頭美代氏 就任<br>10月 第1回作品展開催 開催場所緑ふれあい広場会館<br>出展数135点 来場者150名 出展作品 鉢物盆栽、陶芸、絵画、書道                               |   |
| 平成9年  | 11月 第2回作品展開催 開催場所 緑ふれあい広場会館   |   |
| 平成10年 | 11月 第3回作品展開催 開催場所 緑区役所第2会議室   |   |
| 平成11年 | 10月 広報誌「ふれあい」B5版からA4版にサイズ変更<br>11月 第4回趣味の作品展開催 開催場所 緑区役所講堂（創立10周年記念）  |   |
| 平成13年 | 5月 緑鯨城会総会開催 女性2代目会長 水戸和子氏就任（市長選挙のため5月開催）<br>会長はじめ役員、委員に女性の進出目立つ   |   |
| 平成14年 | 7月 ボランティア活動に関するアンケート調査実施<br>回答数108名/186名 ボランティア活動意思あり（52%）<br>カラオケ愛好会発足   |   |

平成15年 3月 雑巾ボランティア、第1回目の寄贈：コジマ会老健みどりへ150枚

平成15年 4月 緑鯨城会総会開催 女性3代目会長 舟橋一子氏就任  
ボランティア委員会設置



緑鯨城会運営組織  
会長、副会長、書記、会計、会計監査、鯨城会幹事  
広報委員会、行事委員会、期別委員会、ボランティア委員会  
※役員、委員選出基準：入会后3年とする（除く期別）

5月 「緑ふれあい広場」清掃ボランティア始まる

6月 ボランティア保険加入始まる  
「はのはの箱」（緑区歯科医師会）助成金受領  
ボランティアベスト（鯨城会ネーム入り）着用始まる  
カラオケ同好会ボランティア「コジマ会みどり」で始まる

平成16年 3月 「緑ふれあい広場」前庭に15周年記念樹植樹（金木犀）

平成16年 4月 緑鯨城会運営組織  
会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査  
行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別委員会  
※書記を総務に変更し、増員と職務内容細分化

5月 **緑鯨城会創立15周年**

12月 新潟中越地震義援金寄付（35,853円）

平成17年 4月 緑鯨城会運営組織  
会長（兼鯨城会代議員）、副会長、総務、会計、会計監査  
行事委員会、広報委員会、ボランティア委員会、期別幹事  
※期別委員会を期別幹事に変更

7月 「かきつばたの里」喫茶ボランティア活動始まる

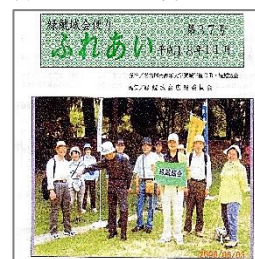
9月 平成4年～11年までの「活動計画資料集」（復刻版）作成なる  
緑鯨城会ボランティア団体として「ボラネットみどり」に加入

平成18年 2月 緑社会福祉協議会よりボランティア活動地域福祉功労者として2名  
表彰される

荒川艶子氏（10期）水戸和子氏（11期）

4月 緑鯨城会運営組織  
期別委員会を再配置

11月 広報誌「ふれあい37号」の表紙カラー印刷となる



平成19年 7月 在校生に対し第1回区会説明会開催される

平成20年 2月 雑巾寄贈1,000枚達成

3月 緑鯨城会会員数、初めて300名超（309名）となる

平成20年 6月 「緑ふれあい広場」解体に伴い15周年記念樹（金木犀）成海神社境内に移植

11月 第12回趣味の作品展に、パソコンアート部門新設作品展で緑区老人クラブ連合会と交流

平成21年 3月 「緑ふれあい広場」廃止  
役員・運営委員会は、徳重コミセンへ、清掃ボランティア活動は大高緑地公園へ

平成21年 4月 緑市民病院で喫茶ボランティア始まる  
大高緑地公園で清掃ボランティア始まる

5月 **緑鯨城会創立20周年**

10月 第14回趣味の作品展オープンカフェ開設好評  
扇川クリーンキャンペーン実施（20周年記念事業）

11月 広報誌「ふれあい46号」発行（20周年記念号）



平成22年 1月 大須演芸場観劇・懇親会（20周年記念事業）

2月 緑社会福祉協議会より、地域福祉事業功労者として3名表彰される  
水戸和子氏（11期）伊藤昇治氏（16期）熊田克己氏（18期）

11月 第15回趣味の作品展に都都逸、短歌・俳句部門に川柳を加える  
甲冑三領初出展

平成23年 4月 緑鯨城会総会会場、緑区役所から緑文化小劇場に変更  
清掃ボランティア活動 大高緑地公園から新海池公園に変更

10月 東日本震災義援金寄付（49,078円）

平成24年 5月 清掃ボランティア活動 要池公園（月1回）始まる

平成25年 6月 同好会「健康麻雀の会」発足

11月 名古屋市長より「民間福祉事業功労者」として、緑鯨城会感謝状拝受

平成26年 3月 緑鯨城会会員数387名（過去最多）となる

5月 **緑鯨城会創立25周年**

平成27年 2月 徳重地区会館にてボランティアフェスティバル参加

3月 緑多文化交流会ボランティア参加  
広報誌「ふれあい」配布者会議実施

6月 ウォーキング同好会、ボーリング同好会発足

10月 第20回趣味の作品展「緑区区民まつり協賛事業」となる  
大高緑地公園プラパンコーナー大好評



平成28年 6月 健康体操同好会発足

平成29年 1月 絞り染め同好会発足

2月 雑巾ボランティア活動、緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受

7月 役員会・運営委員会会場、徳重コミセンから片平ふれあいセンターに変更

平成29年10月 緑市民病院よりボランティア活動に対し「感謝状」拝受

12月 第1回16区フェスティバル参加

平成30年 3月 緑市民病院に車いす2台贈呈  
緑鯨城会ホームページ休止（不正アクセスによる）

平成31年 4月 魅力向上委員会発足  
鯨城会・緑鯨城会ホームページリニューアル  
再入学者の期別変更についての取り決めに運営委員会で承認

### 令和元年 5月 緑鯨城会創立30周年

緑鯨城会創立30周年記念事業実行委員会発足

「わんぱく相撲・世代間交流イベント」ボランティア（主催：名古屋青年会議所）に初参加

7月 みどり英会話同好会発足  
同好会 郷土の歴史を楽しむ会発足

8月 健康太極拳同好会発足

9月 30周年記念事業 運営委員会で承認

- ① 趣味の作品展（30周年記念）
- ② 30年史編纂（ふれあい77号：30周年記念特集号）
- ③ 30周年記念式典・記念アトラクション2部構成（同好会&歌の玉手箱）

10月 第24回趣味の作品展開催（30周年記念）

11月 第2回16区フェスティバル参加

12月 運営委員会だよりを、毎月ホームページに掲載（会員情報共有と迅速化）  
広報誌「ふれあい76号」初のオールカラー印刷版発行  
雑巾ボランティア活動、緑社会福祉協議会より「感謝状」拝受



令和2年 1月 30周年記念品「絞りのハンカチ」を、絞り染め同好会が制作協力

3月 広報誌「ふれあい77号：30周年記念特集号」発行

### \*新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の休止・中止を決定

3月11日（水）に緊急臨時役員会・運営委員会を開催し、活動の休止や30周年記念式典・令和元年度総会及び総会後の記念アトラクションの中止を決定した。

全会員に、式典等中止決定案内及び総会要綱に記載された、「活動報告」「決算報告」「現役員の退任」「新役員の選出」「活動計画」「予算案」「会則改正案」について、一括承認を問うハガキを郵送し、その返信結果をもって総会決議とし、緑鯨城会HP（4月21日）に掲載する旨が決定された。

4月2日（水）臨時役員会  
賛成多数確認一括承認されました

緑鯨城会30周年記念品  
絞り染め同好会制作

「串花絞りオリジナル大判ハンカチ」



【参考文書】

広報誌「ふれあい」 創刊号～第77号

「活動計画資料集」 (復刻版) 平成4年～平成11年

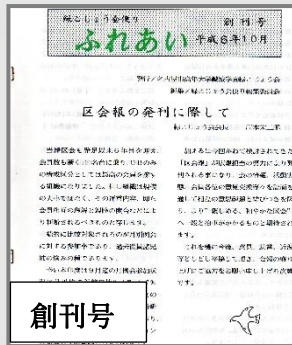
「年次報告書」 平成12年～平成22年

参考文書を実行委員会で分読し、活動実績の確認に手間取りながらも「30年のあゆみ」を編纂致しました。

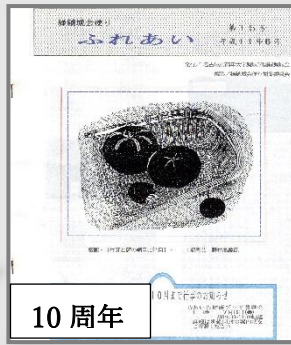
慎重に取り組みましたが、掲載内容に誤認等がありましたら、ご容赦下さい。

尚、お気づきの点がございましたら、加筆・修正をさせていただきたいと思っておりますので広報委員会まで、連絡いただきますようお願い致します。

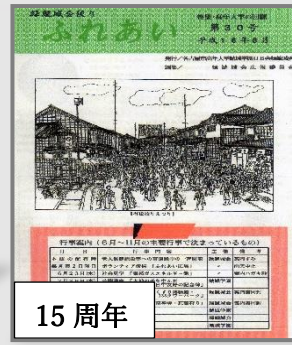
アニバーサリー広報誌 「ふれあい」



創刊号



10周年



15周年



20周年



25周年



30周年

緑鯨城会30周年、礎を築かれた先輩の皆様へリスペクト



## 緑鯨城会歴代会長一覧

年号	氏名	期別	学科	総会開催日	総会会場	会員数	役員会会場
平成元年	那須一雄	2	文化	1989/5/29	トータスランド	29	
平成2年	那須一雄	2	文化	1990/4/		42	
平成3年	那須一雄	2	文化			55	
平成4年	那須一雄	2	文化	1992/4/15	区役所講堂	80	
平成5年	那須一雄	2	文化	1993/4/7	〃	96	
平成6年	岸本榮二郎	4	生活A	1994/4/12	〃	108	緑ふれあい広場
平成7年	須藤弥三郎	5	生活B	1995/4/21	〃	112	〃
平成8年	鬼頭美代	6	生活B	1996/4/22	〃	130	〃
平成9年	荒川廣海	7	園芸	1997/5/3	〃	142	〃
平成10年	今井直次	8	園芸	1998/4/17	〃	164	〃
平成11年	石川吾一	10	園芸	1999/4/23	〃	184	〃
平成12年	石川吾一	10	園芸	2000/4/14	〃	177	〃
平成13年	水戸和子	11	生活B	2001/5/10	〃	184	〃
平成14年	佐藤敏彦	12	文化A	2002/4/9	〃	186	〃
平成15年	舟橋一子	14	生活B	2003/4/17	〃	220	〃
平成16年	岩崎修身	15	園芸	2004/4/7	〃	247	〃
平成17年	淡川 聰	16	美術	2005/3/25	〃	270	〃
平成18年	佐藤敏之	17	文化A	2006/4/5	〃	285	〃
平成19年	熊田克己	18	文化B	2007/3/17	〃	294	〃
平成20年	馬越 求	19	福祉	2008/3/16	〃	309	〃
平成21年	伊藤一夫	20	国際	2009/3/20	〃	339	徳重コミセン
平成22年	河合俊彦	21	環境	2010/4/11	〃	355	〃
平成23年	尾藤宗男	22	地域	2011/4/5	緑文化小劇場	358	〃
平成24年	小玉正氣	23	地域	2012/4/4	〃	353	〃
平成25年	伊藤文雄	24	園芸	2013/4/4	〃	376	〃
平成26年	近藤仙治	25	環境	2014/4/3	〃	387	〃
平成27年	山本捷一	26	地域	2015/4/3	〃	371	〃
平成28年	磯部 勝	27	国際	2016/4/22	〃	380	〃
平成29年	花井興亜	28	環境	2017/4/5	〃	354	片平ふれあいS
平成30年	原田良昭	29	地域B	2018/4/11	〃	356	〃
平成31年	近藤比呂史	30	地域A	2019/4/10	〃	312	〃



# 趣味の作品展30年のあゆみ

年 度	作 品 展	実行委員長	作品展開催日	開催場所	出展数	来場者
平成元年						
平成2年						
平成3年						
平成4年						
平成5年						
平成6年						
平成7年						
平成8年	第1回秋の作品展	牛田正美	10/28～10/29	緑ふれあい広場	135	150
平成9年	第2回秋の作品展	荒川廣海	11/15～11/16	緑ふれあい広場	142	350
平成10年	第3回趣味の作品展	石川吾一	11/4～11/5	緑区役所会議室	196	280
平成11年	第4回趣味の作品展	増原美恵子	11/23～11/24	緑区役所講堂	300	300
平成12年	第5回趣味の作品展	水戸和子	H13/1/27～28	〃	330	300
平成13年	第6回趣味の作品展	佐藤敏彦	H13/12/8～9	〃	220	200
平成14年	第7回趣味の作品展	森 芳男	11/3～11/4	〃	249	269
平成15年	第8回趣味の作品展	岩崎修身	12/20～12/21	〃	427	367
平成16年	第9回趣味の作品展	淡川 總	11/20～11/21	〃	397	491
平成17年	第10回趣味の作品展	佐藤敏之	12/24～12/25	〃	271	491
平成18年	第11回趣味の作品展	大橋博治	12/23～12/24	〃	406	376
平成19年	第12回趣味の作品展	馬越 求	11/8～11/9	〃	362	505
平成20年	第13回趣味の作品展	伊藤一夫	10/9～10/10	〃	225	525
平成21年	第14回趣味の作品展	河合俊彦	10/10～10/11	〃	322	600
平成22年	第15回趣味の作品展	尾藤宗男	11/27～11/28	〃	348	580
平成23年	第16回趣味の作品展	小玉正氣	9/23～9/24	〃	356	580
平成24年	第17回趣味の作品展	伊藤文雄	9/15～9/16	〃	331	641
平成25年	第18回趣味の作品展	近藤仙治	H26/2/22～23	〃	242	566
平成26年	第19回趣味の作品展	山本捷一	10/25～10/26	〃	245	574
平成27年	第20回趣味の作品展	磯部 勝	10/24～10/25	〃	283	613
平成28年	第21回趣味の作品展	花井興亜	10/22～10/23	〃	260	500
平成29年	第22回趣味の作品展	原田良昭	10/28～10/29	〃	295	373
平成30年	第23回趣味の作品展	近藤比呂史	10/27～10/28	〃	250	500
令和元年	第24回趣味の作品展	高野 孝	10/26～10/27	〃	242	450





同好会 30年のあゆみ

年	朝の散歩会	陶芸	カラオケ	パソコン	緑リズム体操	健康麻雀	ボーリング	ウォーキング	健康体操	銭太鼓	絞り染め	ゴルフ	うた声サロン	みどり英会話	郷土の歴史	緑健康太極拳	過去にあった同好会
平成元年																	鉢物・盆栽 H4～H21
平成2年																	
平成3年																	
平成4年	○	○															絵画 H4～H22
平成5年	○	○															
平成6年	○	○															卓球 H4～H22
平成7年	○	○															
平成8年	○	○															
平成9年	○	○															歩こう会 H6～H14
平成10年	○	○															
平成11年	○	○															グランドゴルフ H4～H13
平成12年	○	○															
平成13年	○	○															
平成14年	○	○	○														詩吟 H21～H27
平成15年	○	○	○														
平成16年	○	○	○														
平成17年	○	○	○														
平成18年	○	○	○	○													
平成19年	○	○	○	○													
平成20年	○	○	○	○													
平成21年	○	○	○	○													
平成22年	○	○	○	○													
平成23年	○	○	○	○													
平成24年	○	○	○	○	○												
平成25年	○	○	○	○	○	○											
平成26年	○	○	○	○	○	○											
平成27年	○	○	○	○	○	○	○	○									
平成28年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
平成29年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
平成30年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
平成31年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 学園設立の背景と基本構想

名古屋市社会福祉協議会

常務理事 神谷 英樹

私が民生局長に就任したのは昭和55年であったが、その時代のキーワードは「高齢化社会」であった。当時、我が国は猛スピードで高齢化が進んでいる一方、二度にわたるオイルショックを経験した経済は、高度成長から安定成長へと移行し、さらには核家族化の進行など社会経済情勢の変化の中であって、21世紀を展望した高齢化対策の必要性が国民的課題として各方面で論議されていた。

こうした背景のなか、本市は昭和56年、名古屋市としての老人福祉対策のあり方について本市社会福祉審議会に意見を求め、同58年同審議会から従来の発想を超えたいくつかのユニークな答申をいただいたが、その中に「なごや市民交流学園構想」の提案があった。この構想は、一つには広く市民が生涯生活設計を考え、高齢期における生活や生きがいについて個人としてどう取組むかの姿勢を学ぶとともに、知識や経験の交流を図ることにより、各世代がよりよい社会関係を保つことができる社会環境の創造を期待し、二つには高齢者自身が、学習を通して単に教養を高めるだけでなく、より広い領域での実践のための技能を修得し、地域社会の福祉の向上に貢献することにより、生きがいを高めることのできる場の実現が提唱されたのである。

当時、本市の生きがい対策としての施策は、老人クラブの育成援助とか、就労を通して生きがいを求める高年者能力活用事業などが主流であったが、この答申を受けて、これまでとは一味違ったこの学園構想の実現に向けて高年大学設立の企画が打ちだされ、爾来、3ヵ年に及ぶ研究、検討、準備の期間を経て昭和61年4月鯉城学園の誕生をみたのである。その間、運営方針やカリキュラムなどについて夜を徹して論議したことも今ではなつかしい思い出である。その中で我々が最も心がけたことは、その頃、ともすれば趣味、娯楽、或はその延長線での交流を主体とした「大学」という名の高年者集会在まま見られたが、鯉城学園には、いい意味でのきびしさがあり、「大学」の名にふさわしいアカデミックな雰囲気を持った学園を期待したことである。

時の移ろいは早い。開学して5周年を迎えた鯉城学園は、私どもの期待をはるかに超えて充実発展している。感謝と感激で一ぱいである。

＝ 学園五周年記念誌より転載 ＝



鯉城会 QR コードを作成しました  
鯉城会・各区会の情報共有と発信に  
是非ご利用下さい

緑鯉城会広報

